

みつぐ苑だより

発行:平成21年4月 発行元:介護老人保健施設 みつぐ苑



～ 共に支え 共に生きる ～
私たちは地域社会の一員としてご利用者ご家族のかたわらで尊敬を守り、自立支援・在宅支援を誠心誠意行います。



● 新年度を迎えて 理事長 津野田 誠

平成21年度の事業開始にあたり、ご挨拶を申し述べさせていただきます。今年は、3年に1度の介護報酬改定の年となり、介護従業者の人材確保や認知症ケアの充実などを目的として改定が行われました。当施設も、3月の家族会をはじめ、ご利用者やご家族様が不安を抱かれないよう説明を行ってまいりました。ご利用者のみなさまには介護報酬の改定により利用料の変更等でご負担をおかけすることになりました。これまで当施設が行ってまいりましたサービスについて、新たに評価された点も多く、基本的なサービスは継続されるものと認識しております。今後も「共に支え、共に生きる」の理念のもと、より良いサービス提供に努めて参りたいと考えております。変わらぬご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



● みつぐ苑の体制について グループホーム代表 津野田 昌子

春光うらかな日々となりました。皆様には益々ご清祥のことと存じ上げます。平成9年1月「みつぐ苑」を始めて以来12年間、副施設長として施設長の補佐を果たして参りましたが、この度副施設長の役を辞し、今後は理事として、又グループホームの代表者としての役割を果たして参ります。ふり返りますと、昭和39年「津野田内科」を開業以来33年間、診察以外全てをサポートしながら4人の子育てを終わり、ホッとした矢先に『老人保健施設を創る』と言われました。当時老人病院は社会的入院の方が多く、政府が介護保険を思案中で高齢化社会に向けて大きく動き出した頃でした。老健が何かも判らない為、東京に何度も研修に行き情報を得る状態でした。又、同時に建物の設計も始まり、屋根の色や壁の色など温かく、優しい建物に御利用者をお迎えしたい一心で関りました。開設1年目、ケアプランⅡがヒヤリングも無しに県に許可された時の喜びは今でも忘れる事ができません。平成10年、第1回介護支援専門員の試験があり年齢を気にしながら64歳で受験し、合格した後介護保険の認定審査員を3年半続けました。ケアマネとしてご利用者のご家庭を訪問した事でご利用者をより身近に感じることもできました。今後は自分にできる範囲で貢献したいと思っています。私共は地域の皆様に愛され、ご利用者の皆様に喜んで頂けるように「みつぐ苑」の理念「共に支え共に生きる」を実行して、より良い施設を目指してまいります。副施設長在任中は大変お世話になりました。ご厚情深く感謝申し上げます。尚、今後とも宜しくご指導頂きますようお願い致します。

①

講演会報告

講演会風景



みつぐまち診療所 津野田 尚子院長

3月12日にみつぐまち診療所の津野田尚子Drによる講演会と交流会が地域包括支援センターこいはな主催で中央在宅福祉センターを会場に開かれました。「認知症…もう人ごとではありません。～正しい知識をもち、今から予防していこう!」と題して、約40名の参加者に対して、認知症の知識や予防について話されました。その後はグループに分かれ行われた交流会の中で、地域の皆様からの介護への不安や近頃物忘れが多くなってきたなどの質問や相談を熱心に受けられていました。(地域支援室 本多)

ザ 研修 Vol.7

～平成21年1月～3月の苑内研修報告～

苑内研究発表会

定例の苑内研修の中で、1月20日～2月10日の間に3回に分けて22題の苑内研究発表が行われました。日常生活の中から食事介助や排泄について、褥創への取り組み、通所リハビリからはバスハイクの報告。脳活性リハビリについて、事務部からは21年度の介護報酬改定に合わせ介護保険と、介護報酬を請求するまでの流れについて発表がありました。今回の研究発表では、22題ともパワーポイントを使い、限られた時間内に伝えたいことがまとめてあり、発表態度も堂々としていました。数年前に比べ、格段のレベルアップを感じました。(看介護部長 泉)



「誤嚥」について

3月は、みつぐ苑1階フロアで誤嚥についての研修・勉強会が行われました。誤って食べ物や飲み物を飲みこんでしまったり、飲み込む途中で引っかかってしまった時など、自宅でも起こりうる事故の一つです。今回この研修では、みつぐ苑に入所中のご利用者が、誤嚥で急変を起こした場合、職員は具体的にどのように、何をすべきなのかを、グループわけをしたチームを一組として、シミュレーションを行いました。手順だけでなく全員で力を合わせて救命に挑み、絶対にあきらめてはいけないという事と、いかに正確に落ち着いて行動すべきかを学びました。今後も研修会を通して、ご利用者の皆様が安心して生活できるように、職員一丸となって取り組んでいきたいと思われました。



②

発行 平成21年4月 発行元 介護老人保健施設 みつぐ苑

健康にイキイキと! 健康教室

地域の皆様とのふれあい交流と介護予防・健康増進を目的とした健康教室を2カ所で開催しました。2月25日に小塚ほたる会で6回目となる健康教室を行いました。頭の体操の中で、職員がジェスチャーを行い参加者にことわざを伝えるというゲームでは、伝わりにくいことわざで、悪戦苦闘する職員も見ものとなり、楽しい健康教室となりました。(写真①)



① 小塚ほたる会健康教室

3月27日には池亀八幡宮で、5回目となるいきいき健康教室を行いました。運動が自宅では長続きしないということで、今回はゲーム感覚の物を中心に行いました。内容として、ボールを使った全身運動・フラフープ等も使った運動と、体を動かす中に間違いやすいものがいくつもあり、運動中にも大きな笑いが起こる楽しい健康教室となりました。今回からみつぐ苑健康教室ものぼりを持参し、心機一転!今後も地域の皆様と健康について一緒に運動に取り組みたいと思います。(写真②) (地域支援室 大塚)



② 池亀活き活き健康教室

イベント報告 ～今回は1月から4月初旬の期間で行われたイベントのご紹介です。～



去る3月8日(日)10:00より家族会が開かれました。介護保険改定の為ご利用者の皆様をはじめ、ご家族様へのご理解を頂けるよう準備してきた事を、家族会でお伝え致しました。契約の取り直し(取り直し)や、お支払いについても多少、加算分のご負担についての説明をさせて頂きました。新しい契約書への記入についても変更になり、改めて手続きを頂いております。当日は入所・通所のご利用者の皆様とご家族様が100名近くお越し下さいました。

③

1月 創立12周年記念祝会

勤続5年、10年の職員の表彰式が行われました。(写真①) ステージでは西村直子様による民謡ショーが行われました。

2月 節分 豆まき

恵方巻早食い競争が行われました

3月 雛まつり、雛飾り(写真②)

家族会(写真③)

4月 花見ドライブ(写真④)

③



④

発行 平成21年4月

発行元 介護老人保健施設 みつぐ苑

ボランティア活動紹介

●平成21年1月～平成21年4月10日●

- ・砂原博子様・中島洋子様・佐藤幸恵様
- ・三浦順子様(折り紙教室)
- ・大堂喜三子様(書道教室)
- ・西村直子様(民謡)
- ・岩永宣子様(ピアノ演奏)
- ・小林真寿子様・立山真由美様(音楽療育)
- ・ポー化粧品様(化粧品療法)
- ・金森 貞様(フラワーアレンジメント)
- ・五丁保育園様(ふれあい交流会)
- ・坂口ギター教室様
- ・竹下清秀様(ハーモニカ演奏)
- ・和の会様・和会様(日舞)
- ・熊工OBウインドアンサンブル様(グラブド)
- ・プリティージュガー様(音楽発表)

<バスハイク同行>
田中醫二様・中野百合子様
宮本善彦様・荒尾ルリ子様



新しくボランティア活動いただく岩永様



民謡歌手 西村 直子様



坂口ギター教室の皆様

スタッフ紹介コーナー

今回は、身体拘束廃止委員会と「事務部」をご紹介します。

身体拘束廃止委員会



身体拘束廃止委員会は、平成15年10月に作られました。それまではベッド柵を4本使用する・Y字ベルトを使用するなどの拘束が2～3件ありましたが、医師・リハビリ・看介護職員の代表が集まり、全職員へ向けて身体拘束とはどのような行為なのか、身体拘束をすることで起こりうる弊害についてなど、アンケートの実施や苑内研修会を開き、身体拘束に対する意識の向上に努めてきました。今では、ベッド柵も2本が定着し、Y字ベルトも知らない職員も多くなり、この6年間で身体拘束をしない意識が職員に定着してきたと感じています。しかし、認知症の方など活発に動かれる方に対し「動かないで下さい、座って下さい」などの言葉を発してしまう現実があり、今後は言葉での抑制について意識を変えていくことが課題と考えています。

事務部



事務所に総務課が出来ました
新年度を迎え、この度みつぐ苑に新しく総務課ができました。今までシステム管理、事務サポート部と別々の部署でしたが、今回統合し、4月からの新体制として活動しています。みつぐ苑をご利用中の皆様やご家族様との関わりは少ないかと思いますが、話やすく過ごしやすい環境作りに努めて参りますので、よろしくお願い致します。

お知らせ

今年4月より3年に1度の介護保険報酬改正に伴い、介護保険料だけでなく、みつぐ苑のご利用額や、その他介護保険が関係する項目全般について規則・金額等変更となっています。ご不明な点やお悩みのある方は、みつぐ苑相談窓口にご連絡ください。

編集後記

今年は早くからツツシや藤が咲き乱れていたように感じます。近年、日中の日差しがとても厳しく暑い日が続く毎日です。少しでもさわやかにこの広報誌をお届けできるように、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。

関連事業所

- 通所リハビリテーションみつぐ苑
- グループホーム茜
- 認知症対応型通所介護みつぐ苑
- みつぐまち診療所
- 居宅介護支援事業所みつぐ苑
- 訪問リハビリテーションみつぐ苑
- 津野田内科医院

医療法人 医誠会 介護老人保健施設 みつぐ苑

〒861-5535 熊本市貴門135番地(鈴巻線 崇城大学から車で約3分)

☎096-323-6123

④